

情報連絡員総括表（2021年3月）

－ 静岡県中小企業団体中央会 －

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. **中央会・行政への要望**
5. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 (回答者数 60 名 : 回収率 100%)

- 2021年3月のDI値は、前月との比較において全指標が改善する結果となった。
「売上高」「収益状況」「業界の景況」の主要3指標において、2020年12月から数値を落としていたが、今月は15ポイント以上と大幅に上昇し、2020年11月とほぼ同様の数値となった。
前年同月は新型コロナウイルスの影響で全国の小中高等学校が臨時休校となった時期である。その昨年3月期の主要3指標のDI値を比較すると約30ポイント上昇しているものの、コロナ禍により依然低い水準で推移している。新型コロナウイルス第4波の影響を危惧する声も聞かれる。
- 「製造業」では、前月との比較において全9指標が改善する結果となった。
新型コロナウイルス感染対策をしながら業務を行うことで、余分な経費や人的負荷がかかっているとの声が聞かれる。
- 「非製造業」では、前月との比較において全8指標が改善する結果となった。
建設業からは、物件数が少ないことに加え、施工単価の下落や材料費の値上げにより収益確保に苦慮しているとのコメントが寄せられた。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2021年3月	-33.3	-16.3	-11.7	-15.0	-33.3	-25.0	-20.0	-13.3	-46.7
2021年2月	-51.6	-9.3	-25.0	-20.0	-51.6	-35.0	-36.7	-16.7	-61.6
増減	18.3 ↑	-7.0 ↑	13.3 ↑	5.0 ↑	18.3 ↑	10.0 ↑	16.7 ↑	3.4 ↑	14.9 ↑

2. 項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値		増減		DI値		増減		DI値		増減	
売上高	2021年3月	-26.6	20.0 ポイント	↑	-40.0	16.6 ポイント	↑	-33.3	18.3 ポイント	↑			
	2021年2月	-46.6			-56.6			-51.6					
在庫数量	2021年3月	-6.7	-3.3 ポイント	↑	-38.5	-15.4 ポイント	↑	-16.3	-7.0 ポイント	↑			
	2021年2月	-3.4			-23.1			-9.3					
販売価格	2021年3月	-3.4	10.0 ポイント	↑	-20.0	16.6 ポイント	↑	-11.7	13.3 ポイント	↑			
	2021年2月	-13.4			-36.6			-25.0					
取引条件	2021年3月	-13.3	3.4 ポイント	↑	-16.7	6.7 ポイント	↑	-15.0	5.0 ポイント	↑			
	2021年2月	-16.7			-23.4			-20.0					
収益状況	2021年3月	-26.7	16.6 ポイント	↑	-40.0	20.0 ポイント	↑	-33.3	18.3 ポイント	↑			
	2021年2月	-43.3			-60.0			-51.6					
資金繰り	2021年3月	-20.0	6.7 ポイント	↑	-30.0	13.4 ポイント	↑	-25.0	10.0 ポイント	↑			
	2021年2月	-26.7			-43.4			-35.0					
設備操業度	2021年3月	-20.0	16.7 ポイント	↑					-20.0	16.7 ポイント	↑		
	2021年2月	-36.7							-36.7				
雇用人員	2021年3月	-10.0	3.3 ポイント	↑	-16.7	3.3 ポイント	↑	-13.3	3.4 ポイント	↑			
	2021年2月	-13.3			-20.0			-16.7					
業界の景況	2021年3月	-43.3	13.4 ポイント	↑	-50.0	16.7 ポイント	↑	-46.7	14.9 ポイント	↑			
	2021年2月	-56.7			-66.7			-61.6					

今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況			
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化		
食料品	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1		
繊維工業	0	2	1	1	0	0	0	1	0	2	0	2	0	2	1	1	0	2		
木材・木製品	2	3	0	1	1	0	0	1	0	2	0	1	0	2	0	1	0	3		
紙・紙加工品	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1		
窯業・土石製品	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	2		
鉄鋼・金属工業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	1	0	0	2		
一般機器	1	2	0	0	0	0	0	0	1	3	0	1	1	2	0	1	0	2		
電気機器	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0		
輸送用機器	2	2	2	1	0	1	0	1	2	2	1	1	3	1	1	1	2	1		
その他	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1		
卸売業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	X				0	0	0	2
小売業	1	3	1	3	1	1	1	0	1	4	0	2					0	1	1	4
商店街	2	1	0	3	0	1	0	1	1	1	1	1					0	0	0	1
サービス業	0	3	X		0	1	0	1	0	3	0	1					0	1	0	3
建設業	1	3			0	3	0	3	0	4	0	3					0	2	0	2
運輸業	0	4			0	1	0	1	1	2	0	2					0	1	0	4

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	<ul style="list-style-type: none"> 春休みに入り、地域観光地への人の流れが多くなってきていることから、流通量は増え始めているように感じる。ただし、新型コロナウイルス第四波への不安もあり、先行きは不透明。
織物業	<ul style="list-style-type: none"> 前月と同様で、低迷している景気動向に変化無し。
宗教用具	<ul style="list-style-type: none"> 売上対前年比が微増ながら6.6%増となったものの、低迷状態は続く予測される。
骨材・石工品等	<ul style="list-style-type: none"> 生コンクリートの出荷量が減少している。
金属製品	<ul style="list-style-type: none"> 取引先の業種により、景況の回復状況に大きな開きがある。
生産用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 4月より材料費が値上げになるが、今のところは発注価格は変わらない。景気回復の足を引っ張らなければ良いと心配している。 新型コロナウイルスの影響で国内の案件が少なく、海外向けも通常以上の出張経費がかさみ採算が厳しいものとなっている。
電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 大型冷蔵庫・家庭用エアコンは販売好調継続により生産は拡大している。 業務用エアコンは海外向けの増加が続いており、国内向けも復調してきている。 人手不足が続き対策に苦慮している。 半導体不足による生産への影響が出てきている。
輸送用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> 3月単月では前年度と比較し状況は改善されているものの、引き続きコロナ禍の中で感染防止対策を継続しつつ日常業務を遂行することで余分な負荷がかかっている。 半導体をはじめ部品調達に課題が多く、生産計画の見直しが頻繁に発生する状況になっており、今後も部品調達次第で生産量の変動が予測されるので楽観できない。 組合員の動向は自動車関連は堅調に推移し、設備関連は増加の予想である。 受注量が少なく、金曜日を操業休止にした事業所もある。

非製造業

セメント卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 公共工事・民間工事の減少により4ヶ月連続で出荷量は前年を下回り、通期でも5%減と2年連続前年を下回った。 工法の変更に伴うパラセメント化やコンクリート二次製品および生コンクリートへの転換により、袋セメントの需要低下に歯止めが掛からない状況が続いている。
鮮魚小売業	<ul style="list-style-type: none"> 今後さらに厳しい状況が続き、事業転換及び事業再構築を余儀無くされる事業者が多数出ることが予想される。
燃料小売業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス対策による自粛等期間が長引くにつれ、じわじわと末端販売数量に影響が出てきている。
野菜・果実小売業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響が大きかった前年に比べれば良くなっただが、例年に比べて特別良いわけではない。 飲食は前年より厳しい状態にある為、飲食店への卸の営業などは芳しくない。
各種商品小売業	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏の緊急事態宣言も解除されたが、まだまだ年配客の来街が少なく、ワクチン接種に期待する。 アパレル関係が、少し上向いてきた感があるが、飲食店はまだまだ厳しい状態が続いている。 対前年比では売上高6%上昇したが、一昨年と比較すると2%下がった。ただ、業種間での状況に格差がある。
不動産取引業	<ul style="list-style-type: none"> 地区によっては需要が高く、物件が不足している。仲介業者、宅地分譲業者、建売業者、中古住宅再生販売業者等で競い合いとなっている。需要(買い手)の絶対数は少ない。
情報サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ホテル、旅行業界の業績悪化に伴い、ソフト提供企業が影響を受けている。4月以降予算などが削られ、ソフト開発への影響が予想される。

総合工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 官庁工事は条件の良い物件に業者が集まり、採算が悪い物件は不調が続いている。 ・ 民間工事は当初予算が低いのに資材の値上げが続いており採算が合わなくなっている。 ・ 受注が全く無く稼働していない組合員企業が3割ほどもある。稼働している会社でもほとんどが採算割れの状況。
職別工事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回同様、現状に上向きの変化は見られない。物件数が少なく、受注に苦戦している状況が続いている。 ・ 業種によって差はあるものの、施工単価の下落も散見される。夏以降に期待したい。
道路貨物運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例年、決算月である3月は荷物情報は豊富であるが、今年は激減の状況。組合員からは荷動きが低調で、空車が増加しているとの不安の声があがっている。 ・ 月末にかけては引越の荷物情報が出始め荷物情報が増加傾向となった。 ・ 新型コロナウイルスの影響で取引先の事業統合・集約化により売上げが減少した。半導体関連での稼働日数の減少を危惧している。 ・ トンキロ運賃(貨物の重量(トン数)にそれぞれの貨物の輸送距離(キロメートル)を乗じて算出)や個数運賃の運行は、取り扱い荷量が減っていることから、便数は減らなくても運賃収入が減っている場合が見受けられる。
道路旅客運送業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月に緊急事態宣言が再発出された以降、対前年比で5割近くまで落ち込んだ旅客需要は下げ止まったままで、運送収入も同様に5割近くまで落ち込んだまま足踏み状態が続いている。例年人の動きが出てくる歓送迎会シーズンを迎えたものの、相変わらず会食自粛ムードが続いており、このまま収入が下げ止まると、雇用の確保はさらに難しくなり、事業の存続そのものも一層厳しくなる。ドライバーの確保が難しくなれば、日々の通院や買物など、高齢者や自力での移動が困難な人達の足の確保対策が社会問題化することも懸念される。

4. 中央会・行政への要望

宿泊業より

- ・ 緊急事態宣言の延長により、観光・宿泊業界は依然として厳しい状況が続いている。3月8日から静岡県による県内宿泊キャンペーン「バイ・シズオカ」が再開され観光活性化が期待されるが、首都圏からの来遊が全体の7割以上を占める地区においては、GOTO トラベルの早期再開が熱望される。しかしながら、変異ウイルスの感染拡大等による新型コロナウイルス第4波の可能性も指摘されていることから、この先も厳しい状況が続くと予想される。今後も国・県を中心とした行政による力強い支援を期待する。

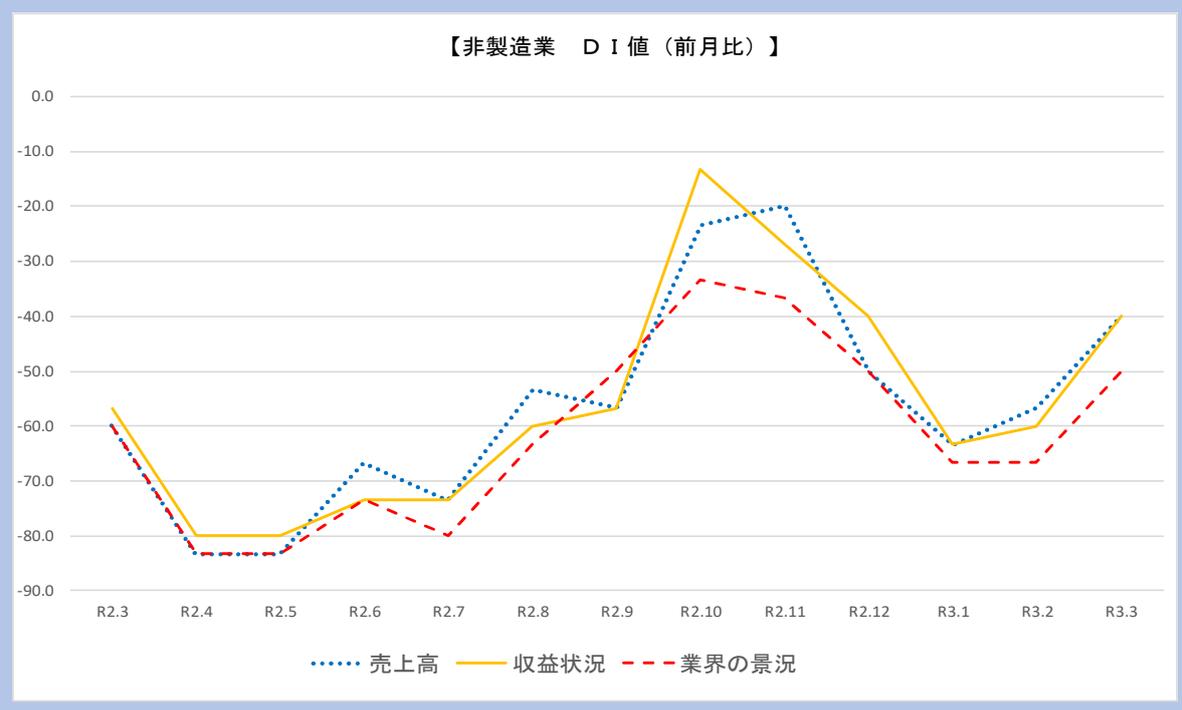
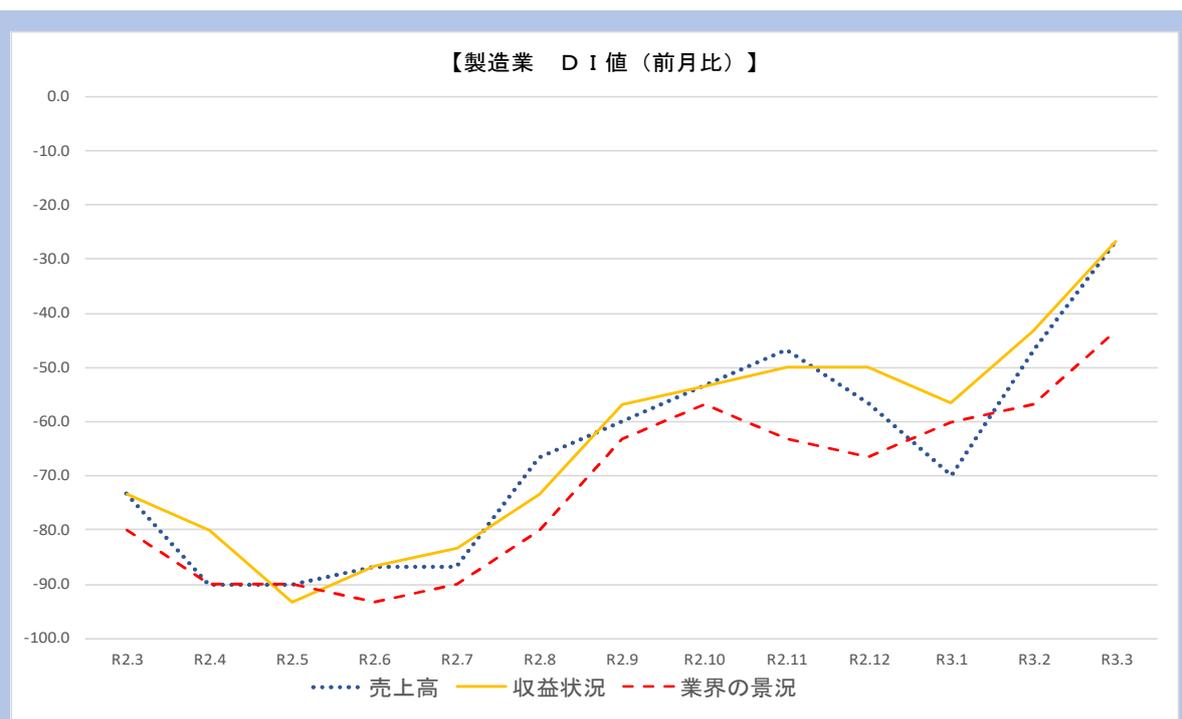
5. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2020年3月期～2021年3月期までの推移

全体	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3
売上高	-66.7	-86.6	-86.7	-76.7	-80.0	-60.0	-58.4	-38.3	-33.3	-53.3	-66.7	-51.6	-33.3
収益状況	-65.0	-80.0	-86.7	-80.0	-78.3	-66.7	-56.7	-33.3	-38.3	-45.0	-60.0	-51.6	-33.3
業界の景況	-70.0	-86.7	-86.7	-83.3	-85.0	-7.7	-56.7	-45.0	-50.0	-58.3	-63.4	-61.6	-46.7

製造業	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3
売上高	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7	-56.7	-70.0	-46.6	-26.6
収益状況	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0	-50.0	-56.6	-43.3	-26.7
業界の景況	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3	-66.6	-60.0	-56.7	-43.3

非製造業	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3
売上高	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0	-50.0	-63.4	-56.6	-40.0
収益状況	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7	-40.0	-63.4	-60.0	-40.0
業界の景況	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6	-50.0	-66.7	-66.7	-50.0



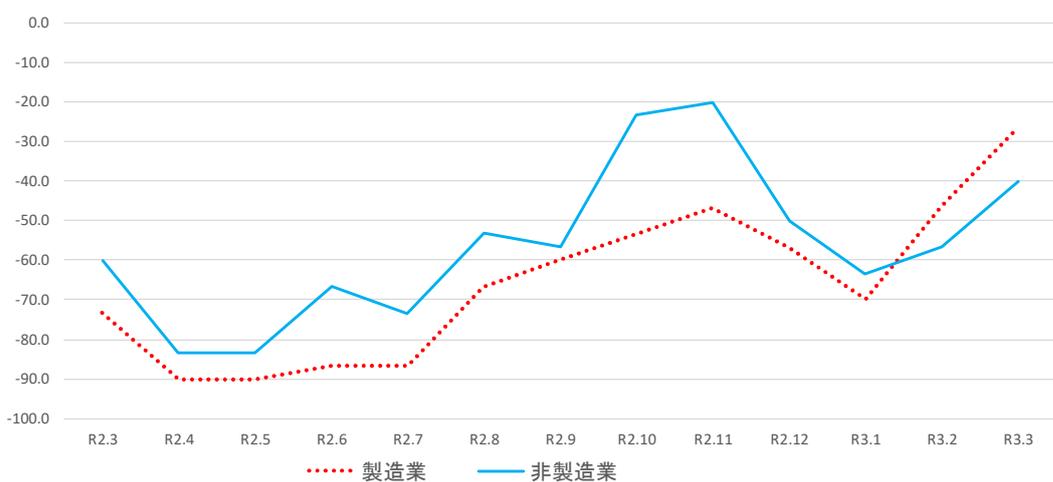
■ 2020年3月期～2021年3月期までの推移

売上高	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3
製造業	-73.3	-90.0	-90.0	-86.7	-86.7	-66.7	-60.0	-53.4	-46.7	-56.7	-70.0	-46.6	-26.6
非製造業	-60.0	-83.3	-83.4	-66.6	-73.4	-53.3	-56.7	-23.3	-20.0	-50.0	-63.4	-56.6	-40.0

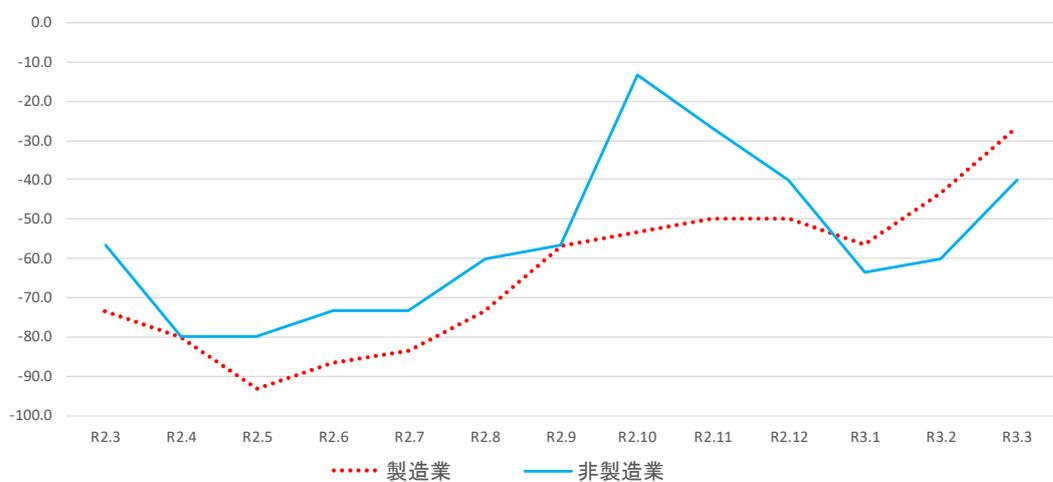
収益状況	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3
製造業	-73.3	-80.0	-93.3	-86.7	-83.4	-73.3	-56.7	-53.4	-50.0	-50.0	-56.6	-43.3	-26.7
非製造業	-56.7	-80.0	-80.0	-73.4	-73.3	-60.0	-56.7	-13.3	-26.7	-40.0	-63.4	-60.0	-40.0

業界の景況	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10	R2.11	R2.12	R3.1	R3.2	R3.3
製造業	-80.0	-90.0	-90.0	-93.3	-90.0	-80.0	-63.3	-56.7	-63.3	-66.6	-60.0	-56.7	-43.3
非製造業	-60.0	-83.3	-83.3	-73.3	-80.0	-63.3	-50.0	-33.4	-36.6	-50.0	-66.7	-66.7	-50.0

【売上高／製造業と非製造業の比較 DI値（前月比）】



【収益状況／製造業と非製造業の比較 DI値（前月比）】



【業界の景況／製造業と非製造業の比較DI値（前月比）】

